

業 務 委 託 仕 様 書

業 務 名：令和８年度大槌町スクールバス運行業務委託【小鎚線等】

業務場所：上閉伊郡大槌町 地内

履行期間：令和８年４月１日から令和９年３月３１日まで

１ 業務委託の目的

スクールバス運行等業務について、安全かつ効率的に運行するために豊富な経験と技能を有する事業者へ委託することにより、児童・生徒の安全安心な通学手段の確保を図ることを目的とする。

２ 委託業務の内容

大槌学園の通学バス運転業務及び運行管理等について委託する。

３ 運行業務

（１） 運行回数

ア 運行日数は、年間 200 日程度とし、そのうち一斉下校等により下校便の運行が 1 便になる日数を 60 日程度とする。ただし、学校行事等により増減する場合がある。

イ 登校時における各運行区間の運行（以下、「登校便」という。）の回数は、通学日ごとに 1 車両あたり最大 1 回とする。

ウ 下校時における各運行区間の運行（以下、「下校便」という。）回数は、通学日ごとに 1 車両あたり最大 2 回とする。

エ 下校便が 3 便となる場合は、集約運行を行う。なお、集約運行とは次のとおり。

集約運行とは、2 路線を 1 車両で運行することをいう。運行計画において 1 日の下校便の回数が 3 回の場合は集約運行するものとする。

(2) 運行区間等

路線名	バス停留所	発車時刻	1、2年生	3、4年生	5、6年生	7～9年生
小鎚線	下徳並バス停付近	7:20	○	○	○	○
	蔵打直バス停付近	7:27	○	○	○	○
	曾根バス停付近	7:29	○	○	○	○
三枚堂線	三枚堂第1町営住宅	7:15	○	○	○	—
	三枚堂第3町営住宅集会所	7:20	○	○	○	—
	三枚堂倉庫前	7:22	○	○	○	—
	三枚堂第4町営住宅	7:25	○	○	○	—
	山岸橋付近	7:28	○	○	○	○
臼沢線	公園前バス停付近(桜木町地区)	7:25	○	○	—	—
	臼沢寺野ふれあい公園前	7:30	○	○	○	—
7:45 大槌学園 着						

※ 発車時刻は、登校便の発車時とする。

※ 下校便の時刻表は運行の前月に配付する。

※ 登校時の終点及び下校時の起点を大槌学園とする。

※ バス停から10m以上離れて停車すること。

※ 運行区間に変更又は廃止があるときは、委託者と受託者の間で協議を行う。

4 使用する車両

委託者が所有する次の公用車が使用する。

路線名	車両番号
小鎚線	岩手200さ1859
三枚堂線	岩手200さ1860
臼沢線	岩手200は・769

※ 委託者は利用者に支障がない範囲において、路線と車両の組み合わせを変更することができる。

5 車両情報

車両番号	メーカー	用途	定員	燃料	駆動方式	年式	走行距離 R7.12.31時点
岩手200さ1859	日産	乗合	29人	ガソリン	AT	H24	106,920km
岩手200さ1860	日産	乗合	29人	ガソリン	AT	H24	103,062km
岩手200は・769	日野	乗合	45人	軽油	AT	R2	36,164km

※ 定員には、運転手が含まれる。

6 車両の保管場所

(1) 車両の保管場所は、大槌町立大槌学園スクールバス駐車場（以下、「バスロータリー」という。）とする。

(2) 学校行事等でバスロータリーが使用できない場合は、委託者が別に指定する臨時の駐車場に保管する。このとき、車両移動は委託業務時間内に受託者が行う。

7 車両管理

「自動車の使用に関する特記仕様」に基づき車両を管理する。また、車両の日常点検整備及び管理等を適正に行う。

- (1) 車両の日常点検整備を1日1回実施し、翌月までに運行記録簿を委託者に提出すること。
- (2) 車両清掃及び洗車の実施
 - ア 車両の内外を清潔に保つため、日常的に清掃又は洗車を行うこと。
 - イ 洗車場所は、受託者において確保すること。
- (3) 燃料の管理
 - 運行に支障が出ないよう燃料を管理し、委託者が指定するガソリンスタンドで給油する。
- (4) 整備工場への車両移動
 - 車両の整備（修理を含む）を目的として委託者から依頼があったときは、委託者が指定する自動車整備会社まで車両を移動すること。ただし、当日中に車両をバスロータリーに戻すことができる場合とする。

8 運行上の責務

- (1) 道路交通法及び関係法規を遵守すること。
- (2) 児童・生徒を乗せて運転していることを自覚し、安全運転に努めなければならない。
- (3) 児童・生徒や保護者からの苦情等が生じないよう誠意ある接遇を行うための運転手の指導及び教育に努めること。
- (4) スクールバスの運行にあたり責任をもって輸送業務を遂行すること。
- (5) 現場責任者を定め、業務の指導監督にあたらせるものとする。その責任者を契約後直ちに委託者へ報告すること。
- (6) 気象状況、その他の事由により安全な運行が確保できないと見込まれるときは、委託者と協議の上、速やかに対応すること。ただし、地震等の突発的な災害の発生及び津波注意報以上が発令されたときは、直ちに運転を見合わせ、運転手は必要に応じて児童生徒を避難誘導し、速やかに委託者へ報告すること。

9 運転手管理

- (1) 運転手は、スクールバスと同等の車両の運転経験を有する者であること。
- (2) 運転手の運転免許証の写しを委託者に提出すること。
- (3) アルコールチェッカーを準備し、毎日運転前後に運転手の健康状態及び酒気帯び状態でないことを確認すること。

10 緊急時（事故発生等）の対応

- (1) 交通事故等その他運行に支障が生じ又は生じるおそれがあるときは、状況を確認し、速やかに学校長及び委託者へ連絡するとともに、適切な処置をとらなければならない。
- (2) (1) について後日、報告書を提出しなければならない。

11 その他

- (1) 本業務の履行に関して知り得た秘密及び児童・生徒に関する情報を、第三者に漏らしてはいけな
い。契約終了後も同様とする。
- (2) 本仕様書の内容について不明な点や不足している事項などの疑義が生じたときは、委託者と受託者

で協議をする。

12 委託料の支払い

- (1) 委託料は月払いとする。
- (2) 契約額を委託期間の該当月で等分し、完了した月分の支払を請求する。このとき、月数で等分した端数は初月に加算すること。

13 費用負担

費用	内容	大槌町	受託者
人件費	給与、手当、福利厚生費等		○
車両整備費	車検費用（車検料、重量税・自賠責保険料を含む） 法定点検費（3か月、6か月、9か月点検） タイヤ交換又は購入費 エンジンオイル、エレメント交換費 車両修繕費（受託者に起因する修繕を除く） △：車両修繕費（受託者に起因する修繕の場合）	○	△
車両備品	消火器 発炎筒 タイヤチェーン 作業用ライト（夜間タイヤチェーン脱着等）	○	
燃料費	ガソリン代、軽油代	○	
自動車保険料 （任意保険）	対人 無制限 対物 無制限 人身傷害（搭乗者保険） 無制限もしくは補償制限最高額 車両保険 時価 ロードアシスタントサービス（レッカー搬送等）		○
消耗品費 ※一般管理費に含む	車両清掃用品費 事務消耗品費 提出書類作成費用（運転日誌印刷等）		○
施設維持管理費 （洗車場） ※一般管理費に含む	○：受託者敷地で洗車する場合 ・洗車に係る水道代 ・洗車機使用に係る電気代	△	○
諸経費 ※一般管理費に含む	その他運行管理に係る諸経費		○

※ 国土交通省が定める道路運送法、旅客自動車運送事業運輸規則によって、会社では運転手に対してアルコール検知器で呼気中のアルコール濃度を測定することが義務付けられていることから、当業務委託により追加購入になるものではない。

14 運行距離

路線名	走行距離(1往復)
小鎚線	22.0 km
三枚堂線	12.0 km
臼沢線	10.0 km

自動車の使用に関する特記仕様

業務名：令和8年度大槌町スクールバス運行業務委託【小槌線等】

指定保管場所：大槌町立大槌学園駐車場

（使用）

第1条 受託者は、本業務の履行期間において、委託者が指定するスクールバス車両（以下、「使用車両」という）を無償で使用するができる。

（返却）

第2条 原則として、使用車両は指定保管場所に駐車すること。

2 受託者は、当日の業務が完了した場合は、速やかに指定保管場所に返却すること。

（管理責任）

第3条 前条に記載する使用から返却までの間の管理責任は、受託者が負う。

2 使用車両の保管中の管理責任は委託者が負う。保管中とは、業務時間外において大槌学園駐車場に使用車両を駐車している状態をいう。

（保管・管理）

第4条 受託者は、使用車両を返却する際は施錠など万全の注意を払うこと。

2 使用車両の管理については「大槌町公用車運行管理規程」等、委託者の規定を準用すること。

3 使用車両の保管・管理の詳細についてはこの仕様書に記載のほか、別に定める。

（自動車保険加入）

第5条 受託者は、自動車損害賠償保険（任意保険）に加入しなければならない。補償内容は、対人及び対物は無制限。人身傷害保険（搭乗者保険）は無制限もしくは補償制限最高額。車両価格見積額は時価。また、ロードアシスタントサービス（レッカー代）を含む。保険証書の写しを委託者に提出するものとする。

（事故の報告義務）

第6条 受託者は、使用車両の使用中に交通事故及びその他の突発事故が発生した場合は、事故発生報告書により、遅滞なく委託者に報告すること。

（事故の責任）

第7条 受託者が使用車両の使用における事故の責任は、受託者が負うものとする。事故処理等についても受託者が行うこと。

（損害賠償責任）

第8条 受託者は、委託業務の実施中に受託者の責めに帰すべき事由により委託者及び第三者に損害を与えたときは、受託者の責任においてその損害を賠償しなければならない。

2 受託者の瑕疵による交通事故等の発生により使用車両が廃車になった場合は、車両価格見積額（時価）を

委託者に対して賠償しなければならない。